

社会福祉法人

発行日 2020年9月
No.9

たんぽぽ福社会会報

社会福祉法人たんぽぽ福社会
大阪府枚方市中宮北町10-14
<http://www.watage.jp>
発行責任者 早瀬 眞喜子

私たちは
ひとりひとりの生活と権利が守られ
すべての人が大切にされる
社会福祉の発展に貢献します

- ・未来の社会を担う子どもたちの命を守り 限り
ない発達保障をめざします
- ・多くの人と手を結び 住みよい街づくりを進め
ます
- ・憲法をくらしに生かし 子どものしあわせと
平和な社会をめざします

コロナ禍の中での保育（行事）について考える

— 子どもにとっての楽しい活動を考えるチャンスに —



たんぽぽ福社会 理事長 早瀬 眞喜子



新型コロナウイルスは、4・5月緊急非常事態宣言後、一時期は収束したようにみえたものの、政府の「GoToキャンペーン」など感染拡大を推進するような施策の中、現在も感染拡大の波がとまりません。

保育園においては、4・5月の自粛生活の中で保護者や保育者も大変なご苦労の中、子どもたちの安全・安心を第1に過ごされたと思います。6月から通常保育は再開されていますが、「Withコロナ」と言われる中、3密をさけ、人との距離をとる日常生活の中で、新たな保育・行事の展開が求められています。

コロナ禍の中、子どもたちの豊かな生活、楽しい遊びをどのように保障していくのか？

保護者のみなさんと考え、保育の質の向上に繋がる検討をしていきたいと考えます。

特に、保護者等が多く集まる行事の見直しは必須です。秋の運動会、生活発表会等は、中止するのではなく、「どのような位置づけで開催するのか？」が問われます。保護者にとって行事は、子どもの成長・発達を確認する場であり、保育者にとっては子どもたちと様々な困難や葛藤を乗り越えて迎える場です。子どもにとって行事は、活動の節目として、楽しいワクワクする活動、子どもの内面を豊かにし、友達関係が深まる活動です。

行事の形態にとられるのではなく、子どもが主体です。これまでの行事が必要か否か、縮小・見直しなど保育者集団で議論し、保護者と共に考えましょう。

コロナ禍が長く続く中、「保育とは何か」「子どもにとって大事な活動は何か」を考える機会にしていきたいと思います。一番大事なものは「生命」であり、生活の中で大事なことは、食・睡眠・排泄などの生活リズムの確立です。その生活基盤を土台に、楽しい遊び活動と創造性を育む知的な活動が必要だと考えます。

親の期待や保育者の子どもに「〇〇をさせたい」という願いは大事ですが、それが「子どもにとって楽しい活動になっているのか？」この時期だからこそ、一度立ち止まって考えてみる必要があると思います。

2019年度 本部事業実績報告

理事会・評議委員会の日程・内容

- ◎理事会 2019年5月30日 ・2019年度事業報告と決算・理事会役員任期満了による改選
・社会福祉充実残高・計画・定時評議委員会の議案
- 定時評議員会 2019年6月15日 ・2019年度事業報告と決算・理事会役員任期満了による改選
- ◎理事会 2019年6月15日 ・理事長の選任
- ◎理事会 2019年10月7日 ・暇たんぼぼ保育園園庭擁壁工事について（設計監理契約・入札参加資格）
- ◎理事会 2019年11月6日 ・暇たんぼぼ保育園園庭擁壁工事について（資格審査）
- ◎理事会 2019年12月2日 ・暇たんぼぼ保育園園庭擁壁工事について（入札・請負契約）
- ◎理事会 2020年1月20日 ・暇たんぼぼ保育園土地問題について・第1次補正予算について・評議員会の議案
- 評議員会 2020年1月25日 ・暇たんぼぼ保育園土地問題について・第1次補正予算について
- ◎理事会 2020年3月19日 ・2020年度事業計画と予算について・運営規定の改定について
・定款変更（暇たんぼぼの基本財産の追加）について・定時評議員会の議案
- 評議員会 2020年3月30日 ・2020年度事業計画と予算の件・定款変更の件（同意書）
- ★監事監査 2019年5月29日

年 間 行 事

- たんぼぼ福祉会40周年記念行事 2019年7月7日（日）仙亭にて *たんぼぼ福祉会40周年記念誌発行
- 市施設指導監査 2019年8月27日（枚方たんぼぼ保育園） ・2019年8月29日（つくし保育園）
・若干の指摘事項について、直ちに是正しました。

職員の労働と安全な環境を考える会

職員が長く健康で働き続けるために、臨床心理士による職員の簡易ストレスチェックを実施し、希望者は臨床心理士への相談の時間を保障。地域の方からの面談の要望に応える等、地域貢献も行っていきます。

法人新任研修 2019年5月20日

法人の理念や倫理観、サービス心得や規範等を学び法人職員の意識を高めます。また新任交流の場にもなっています。

法人職員研修（第10回） 2020年1月26日（日）

AM 講演『発達をみる目を豊かに―「気になる子」の姿から保育を捉え直す』

講師 平沼 博将氏 [大阪電気通信大学教授] 全職員対象 130名

PM 保育や保健の実践の報告会を行いました。実践報告や交流は法人内で学び合う機会になっています。法人研修での報告が、全国の研修での報告に繋がっています。

苦 情 の 受 付 と 内 容

苦情解決委員会 第三者委員 芝田幸子・一氏明美

2019年度の受診を伴った事故及び受診の経過と対処について。10件の苦情、保護者から（保育について、職員の言動について、保護者への連絡方法について等）9件、地域（室外機の音に対して）1件の対応とその後に講じた対策について。書面にて報告を行いました。

社会福祉法人たんぼぼ福祉会 役員等 任期 2020年度定時評議員会まで

理事長 早瀬眞喜子

理事 酒井眞澄・西島まゆみ・日野美保・林あすさ・谷野円理子

監事 芝田幸子・足田英司

評議員 黒田美光・大野孝幸・久保徳弘・小林徹也・嶋 浩章・御池伸明・久田敏彦・西川 寛・吉住美佳

たんぽぽ福祉会 2019年度 決算書

資金収支計算書 (単位:円)

勘定科目	決算	
事業活動による収支	収入	保育事業収入 596,630,005
		借入金利息補助金収入 14,000
		経常経費寄附金収入 1,362,565
		受取利息配当金収入 425
		その他の収入 8,785,011
		事業活動収入計 606,792,006
	支出	人件費支出 444,942,897
		事業費支出 45,613,797
		事務費支出 43,644,700
		支払利息支出 708,906
		その他の支出 6,618,521
		事業活動支出計 541,528,821
	事業活動資金収支差額 65,263,185	
施設整備等による支出	収入	施設整備等収入計 2,585,000
	支出	設備資金借入金元金償還支出 10,204,000
		固定資産取得支出 48,111,060
	施設整備等支出計 58,315,060	
	施設整備等資金収支差額 -55,730,060	
その他の活動	収入	積立資産取り崩し収入 40,525,761
		その他の活動による収入 0
		その他の活動収入計 40,525,761
	支出	積立資産支出 46,401,152
		その他の活動支出計 46,401,152
	その他の活動資金収支差額 -5,875,391	
	予備費支出	
	当期資金収支差額合計	3,657,734
	前期末支払資金残高	80,404,041
	当期末支払資金残高	84,061,775

事業活動計算書 (単位:円)

勘定科目	当年度決算	
増減の部	収益	保育事業収益 596,630,005
		経常経費寄附金収益 1,362,565
		サービス活動収益計 597,992,570
	費用	人件費 447,447,174
		事業費 45,613,797
		事務費 43,644,700
		減価償却費 35,353,539
		国庫補助金等特別積立金取崩額 -13,197,296
		サービス活動費用計 558,861,914
		サービス活動増減差額 39,130,656
増減の部	収益	借入金利息補助金収益 14,000
		受取利息配当金収益 425
		その他のサービス活動外収益 9,089,596
		サービス活動外収益計 9,104,021
	費用	支払利息 708,906
		その他のサービス活動外費用 6,861,281
		サービス活動外費用計 7,570,187
		サービス活動外増減差額 1,533,834
		経常増減差額 40,664,490
	特別増減の部	収益
		その他の特別収益 251,677
		特別収益計 2,836,677
費用		固定資産売却損・処分損 32,639
		国庫補助金等特別積立金積立額 2,585,000
		その他の特別損失 149,757
		特別費用計 2,767,396
	特別増減差額 69,281	
	当期活動増減差額 40,733,771	
増減差額の部	繰越活動増減差額	前期繰越活動増減差額 274,192,968
		当期末繰越活動増減差額 314,926,739
		その他の積立金取崩額 39,000,000
		その他の積立金積立額 43,500,000
		次期繰越活動増減差額 310,426,739

貸借対照表

(単位:円)

資産の部		負債の部	
流動資産	102,663,452	流動負債	45,950,677
固定資産	884,456,800	固定負債	88,570,916
基本財産	566,303,066	負債の部合計	134,521,593
その他の固定資産	318,153,734		
		純資産の部	
		基本金	179,149,955
		国庫補助金等特別積立金	177,721,965
		その他の積立金	185,300,000
		次期繰越活動増減差額	310,426,739
		純資産の部合計	852,598,659
資産の部合計	987,120,252	負債及び純資産の部合計	987,120,252

脚注 1. 減価償却費の累計額 円

2020年度 予算

(単位:千円)

勘定科目	予算	
事業活動による収支	収入	保育事業収入 567,478
		借入金利息補助金収入 7
		経常経費寄附金収入 220
		その他の収入 9,025
		事業活動収入計 576,730
	支出	人件費支出 436,378
		事業費支出 51,170
		事務費支出 41,313
		支払利息支出 592
		その他の支出 8,050
		事業活動支出計 537,503
		事業活動資金収支差額 39,227

勘定科目	予算	
施設整備等による支出	収入	施設整備等収入計 3,000
	支出	設備資金借入金元金償還支出 10,204
		固定資産取得支出 10,470
		施設整備等支出計 20,674
	施設整備等資金収支差額 -17,674	
その他の活動	収入	積立資産取り崩し収入 0
		拠点区分間繰入金収入 7,300
		その他の活動収入計 7,300
	支出	積立資産支出 15,800
		拠点区分間繰入金、その他支出 7,300
	その他の活動支出計 23,100	
	その他の活動資金収支差額 -15,800	

当期資金収支差額合計 5,753

枚方たんぽぽ保育園

枚方市中宮北町10-14
定員90名 一時預り事業 体調不良型対応病児保育事業

2019年度の報告

《年間委託児数（月初入所児数）》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	《その他年間利用数》
0歳児	10	10	11	11	11	11	12	12	12	12	12	12	136	延長保育(トトロぐみ)利用数
1歳児	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216	1337名
2歳児	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216	一時預り利用数
3歳児	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	228	2604名
4歳児	19	19	19	19	19	19	20	20	20	20	20	20	234	病児保育利用数
5歳児	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240	206名
計	104	104	105	105	105	105	107	107	107	107	107	107	1270	
充足率													118%	



《設立41年目の枚方たんぽぽ保育園》

2019年度に設立40周年を迎えた枚方たんぽぽ保育園は、周年行事を通じてこれまでの歩みをふりかえり、若い職員とともにこれからを見通す良い機会になりました。2020年度は幹部職員の異動もあり、新たなスタートとなります。新体制を軌道に乗せて、職員が主体となっていきいきと働ける職場づくりに努めていきたいと思ひます。

《子どもの安全と健康・命をまもるとりくみ》

昨年度末から新型コロナウイルス感染拡大のため、通常の形での保育が困難となっておりますが、感染防止を常に念頭に置いて、清掃・消毒および三密を避ける保育にとりくんでいきます。行事の中止や縮小について検討をつづけることになるでしょうが、制約のある中でも子どもたちが安心して楽しく過ごせる新しい保育に、保護者にもご理解とご協力をお願いしながらとりくんでいきたいと思ひます。2019年度は、いつ起こるかかわからない災害に備えて、非常災害対策マニュアルの見直しをしました。引き続き災害発生後に迅速な事業継続の対応ができるよう、BCPを整備する予定です。また、大津で起きた園児の散歩中の事故の後、行政とともに保育園付近の散歩道の点検を行い、2020年9月には園前の歩道に安全柵が取り付けられました。散歩計画書・報告書を徹底し、安全で楽しい散歩活動を今後も保障していきたいと思ひます。0・1歳児クラスや一時預かりのクラスでは、毎月救急シミュレーションを行い、職員の緊急対応時の意識の向上に努めています。

《子どもたちがいきいきと遊べる環境づくり》

2019年度は園庭整備1期工事を行い、幼児用雲梯や乳児用雲梯・滑り台・ブランコなどの固定遊具と、園庭東側に砂場とトンネル付きの築山『森のきりかぶ山』を設置しました。園庭の隅に畑を作ったり、大小のプランターを活用して栽培活動にとりくんだり、草花や雑草に住むいろいろな虫を見つけたり、毎日五感を働かせて外遊びを楽しめる環境が拡がりました。2020年度は2期工事としてこぶた前に築山と砂場の設置、東側に植樹を予定しています。限られた条件の中でも、子どもたちがのびのびと遊べる環境づくりにとりくんでいきます。



《地域から頼りにされる保育園に》

地域子育て支援のとりくみと一時預かりをつなぎながら地域の子育て支援を行ってきた経過とこれからの課題について、2019年度全国保育問題研究会に実践提案をしました。地域支援について、園全体でとりくんでいくことの大切さと、多様化するニーズに対応していく必要性の増大に対して、矛盾する制度上の問題に直面する現状を改めて認識しました。また、関係機関と連携して、様々な子育て不安を抱える家庭の相談および見守りを行いました。感染防止対策のため、地域子育て支援のとりくみはしばらく中止していましたが、少しずつ再開し、園庭開放や園外保育への申し込みが増えてきました。また一時預かり保育利用の方の育児相談の機会を位置づけ、たいへん喜ばれています。今後は、SNSも活用しながら、多岐に渡る子育ての悩みに答え、つながりづくりを支える子育て支援にもとりくんでいきたいと思ひます。

《職員の資質向上をめざして》

職員が主体的に学び合える機会を保障できるよう、少人数グループでの園内研修にとりくみました。保育の中での疑問やお互いの思いを共有しあい、経験を交流しあうことができました。これから引き続き、グループごとの文献学習にとりくんでいきます。職員の自己評価の中では、困ったことがあるときなど、お互いに声を掛け合い助け合う職員集団の関係が支えになっているとの声が多く挙げられます。報告・連絡・相談を大切に、お互いの気づきを伝えあって風通しの良い職員集団づくりを目指していきたいと思ひます。



暇たんぽぽ保育園

四條畷市清瀧445-9
定員70名 一時預り事業 体調不良型対応病児保育事業
子育て支援拠点事業 (つどいの広場 学童保育)

2019年度の報告

《年間委託児数（月初入所児数）》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	《その他年間利用数》
0歳児	5	5	6	6	8	9	9	9	9	9	9	9	93	延長保育(ほたる)利用数
1歳児	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	168	378名
2歳児	15	15	15	15	15	15	15	14	14	15	15	15	178	一時預り利用数
3歳児	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	192	928名
4歳児	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	168	病児保育利用数
5歳児	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	192	211名
計	80	80	81	81	83	84	84	83	83	84	84	84	991	学童保育利用数
充足率													118%	120名

《子どもの命を守る環境整備と保育を》



子どもたちが安全に登降園できる様に
駐車場を整備しました。

開園当初から、保育園の駐車場問題は「子どもの命を守る安全な環境整備」として検討してきました。当年度、保育園関係者のご協力を得て園舎横の土地を購入、保護者が送迎時に利用する駐車場が整備できました。

子どもたちは、安心して傾斜の歩道を歩いて毎日元気に登園しています。

年度末は、新型コロナウイルス感染症から「子どもの命を守る」ため、子どもの健康管理・衛生管理を強化し、清掃や手洗い・消毒の徹底に努めてきました。全職員で、保育や行事の在り方を見直し、安全な環境と子どもたちの限りない発達保障を目指して創意工夫に努めてきました。



《子どもたちの主体性を大切に、小学校と合同で取り組んだ「おまつりごっこ」》

四條畷市では、就学前施設と小学校との連携を推進する取り組みを行っています。2019年度、四條畷小学校1年生と暇たんぽぽ保育園5歳児との交流・研究に取り組みました。先生と仲間とつながり、安心感をもってゆるやかに学習への移行ができる様に、「子どもたちの主体性を大切に」お互いに協力し合い「おまつりごっこ」を楽しみました。

子どもたちは「新しいともだちができた」とつながる喜びを実感しました。また、小学生にも「つくって遊ぼう」に来園してもらい連携を図りました。今後も継続して、育ちの連続性を学び合い連携を推進します。



小学校(1年生)と5歳児の交流
「おまつりごっこ」(保小連携)

《人と人とのつながりを大切に、平和について学童が発表》

8月の「平和のつどい」では、毎年たんぽぽの学童たちも「へいわについて」話し合い・考え合いみんなで発表しています。今年は、「あなたにとってへいわとは？」を調査してまとめました。調査対象を、職員・保護者・「よるか利用者」(高齢者施設)にして、メモ紙をもって一人ひとりに質問して集めました。応答しながらたくさんの人の思いに触れ、平和は「あたり前な毎日の生活の中にある」ことを知った子どもたちでした。



学童「平和のとりのくみ」発表

《職員の資質向上をめざし、学びも保護者と共に》

年間を通じて外部研修、園内研修、法人研修に職員が参加できるよう学びの場を保障しました。また、全国や他の行政区で実践提案をおこない交流ができた事は、全職員の励みと力になりました。12月の子育て講演会では、「子どもの権利条約」を保護者と職員と一緒に学びました。

今後も、「学びの姿勢」をもって資質・専門性の向上に努めます。



2019年度の報告

《年間委託児数（月初入所児数）》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	4	4	7	8	9	10	11	11	12	12	12	12	112
1歳児	12	12	12	12	12	12	12	12	12	11	11	11	141
2歳児	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120
計	26	26	29	30	31	32	33	33	34	33	33	33	373
充足率													119%

《15周年の記念行事を取り組みました》

2019年度はつくし保育園の15周年の記念行事として「0歳から楽しめる」ヴァイオリンとピアノのコンサートを取り組みました。来ていただいたヴァイオリンの演奏者は「たくさんの方の思いを集めて作った保育園の歴史」を共に支えてきてくれた方です。午前は保育園の親子で、午後は地域、OBの方、職員でヴァイオリンとピアノの演奏に参加し、子どもも大人も本物の文化に触れる機会を持つことができました。0歳から2歳の乳児保育園で、長くても3年という短いかわりですが、「楽しかった」という体験を重ね、保育園に関わった人たちがこれからも繋がっていけたらと思います。



15周年の取り組みです。

《子どもの安全と健康・危機管理について》

自然災害や著しい気候変動など毎年子どもたちの過ごし方については検討が必要になっています。「食べる・寝る・水遊び」は最も危険を伴うことです。子どもたちが、安全に健康に過ごすためAEDの園内研修も職員全員でとりくみました。夏のプール遊びについては「暑さ指数」も考えながら、「監視役」を置き、子どもたちが心地よく水遊びができるよう取り組みました。

2月、3月新型コロナウイルスの感染が広がり、「緊急事態宣言」「原則休園」などの対応の中「命を守る」というところに立ち、日常生活や行事の見直しを続けています。子どもたち同士の「密」を避けるのはむずかしいですが、幼い子どもたちが濃厚接触者にならないように、感染防止のための日々の保育の作り方、消毒等、職員で確認しながら取り組んでいます。感染者が出た時は市の方針・指導に基づき、園内でも「緊急時の対応マニュアル」を作りリーダー職員が中心となり対応できる体制を作りました。コロナウイルス感染防止対策については、常に状況を把握し子どもの楽しい生活・遊びを大事に対応していきます。

《子どもたちの育ちを大事にしたとりくみ》

例年3月に生活発表会と2歳児の卒園式を行っています。2019年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、2歳児のみの発表会と卒園式になりました。0歳児から2歳児のそれぞれの成長を保護者の方と共有でき、2歳児の卒園をみんなでお祝いする場が持てなかったのは残念ですが、2歳児の保護者、職員で取り組むことができ、子どもたちや保護者にとっては次の進路に向かっていく力と、共に過ごした生活を振り返ることができました。

今年度は、子どもたち、保護者、職員が集える行事ができずにいますが、毎日の生活・遊びの継続で日々、子どもたちの成長を感じています。コロナ禍の中、感染予防を第1に考え、楽しい遊びや生活、行事については、楽しい経験の中で子どもたちが友だちと心を通わせ成長できる様、考えていきたいと思っています。



2歳児の親子のみの発表会と卒園式をしました。



「絵本ライブ」今年度の取り組みです。1クラスごと2回公演をしていただきました。久しぶりの楽しい時間でした。

《職員の資質向上をめざして》

2019年度は保育、給食、看護師などそれぞれの分野の研修に参加しました。全職員対象の法人研修にも参加、全職員で学びあえる場があることで、保育での共通の認識を作っていくことができました。

2020年度は安全を考え、研修をリモートで学べるようにしています。また、課題別に園内研修もおこない学んだことが職員の意欲や資質の向上につながり、保育の質の向上にもつなげていきたいと思っています。

津の辺保育園

大東市南津の辺町2-32
定員90名 一時預り事業 体調不良型対応病児保育事業

2019年度の報告

《年間委託児数（月初入所児数）》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	《その他年間利用数》
0歳児	10	10	12	12	14	14	17	17	17	18	18	18	177	延長保育利用数
1歳児	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	156	257名
2歳児	18	18	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	226	一時預り利用数
3歳児	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	192	248名
4歳児	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216	病児保育利用数
5歳児	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	228	334名
計	94	94	97	97	99	99	102	102	102	103	103	103	1195	
充足率													111%	



《子どもの安全・命を守るとりくみ》

2019年5月滋賀県で保育園の散歩中に車が突っ込むという大きな事故がありました。津の辺保育園の近隣には「深北緑地」「野崎観音」があり、日常に自然の中で身体を使って遊んでいます。職員は「子どもの命を守る」ために「散歩に行かない方がいいのか？」と悩みながら「子どもたちにとっての散歩」の意義を確認しあいました。そして「子どもの命を守る」ために「園外保育」を実施しないのではなく、安全に「園外保育」を行えるように、職員でビデオカメラを持参し、子ども目線で散歩コースを歩き、危険箇所を見直しました。また大東市にも危険箇所を伝えました。



深北緑地の柳の木を見に行きました。
「おおきい〜！」

2020年の年明けから広がり始めた「新型コロナウイルス」の感染拡大防止においては「子どもの命」を守るため、消毒・換気から始めました。3月になると、お別れ会や卒園式などは縮小しながらも、知恵を出し合い「できること」を考えてとりくみました。

2020年度は4・5月の臨時休園（保育が必要な方のための保育は行っていました）を経て6月半ばより通常保育を行っています。保育は「3密」を避けることは難しいですが、手洗いや消毒を行い、行事はクラス毎に楽しむ、クッキングは「見るクッキング」など色いろなことが「出来ない」状況の中「出来ること」を考え保育を行っています。

《子どもの育ちを保障するとりくみ》

兄弟保育（3・4・5歳児の異年齢）を年間通して行いました。3・4・5歳児クラスを縦割りりで6〜7人のグループに分け、製作・感触遊び・クッキングなどとりくみました。春の頃は担任を求めている3歳児は年度末には5歳児を頼る姿があり、異年齢グループの中で年長児としての役割を果たそうとする5歳児の姿が見られました。子ども同士の関わりがひろがり、保育士も多面的に子どもを見るきっかけになりました。



異年齢グループで出し物の話し合い
「どんなことする？」

《職員の資質向上》

園内グループ研修として年間通して「安全な保育環境を考える」「場面記録での実践研修」をテーマに行いました。子どもの「気になる姿」から、子どもの内面を捉えることを学びあいました。また8月の「全国保育合同研究集会」では、2018年度の「5歳児劇づくり」の実践を提案しました。全国から集まった保育者から様々な意見を聞くことができ学びになりました。



《地域から頼りにされる保育園をめざして》



地域活動「親子クッキング」じゃがいももち

大東市は子どもの入所定員数が増えた（小規模園の増加、定員数の増員など）ことで一時保育の利用数が減少している一方で、家庭支援や医療的ケアが必要な子どもの一時保育利用の要望が増えています。関連機関（ネウボラ大東・保育課・家庭児童相談所・地域保健課…）とつながりながら、保護者の支援を行っています。地域活動では地域の「子育てひろば」と一緒に行う取り組みも行っています。「子育てひろば」とのつながりから津の辺保育園の存在が身近に感じてもらえ、その後入園につながる方も増えています。

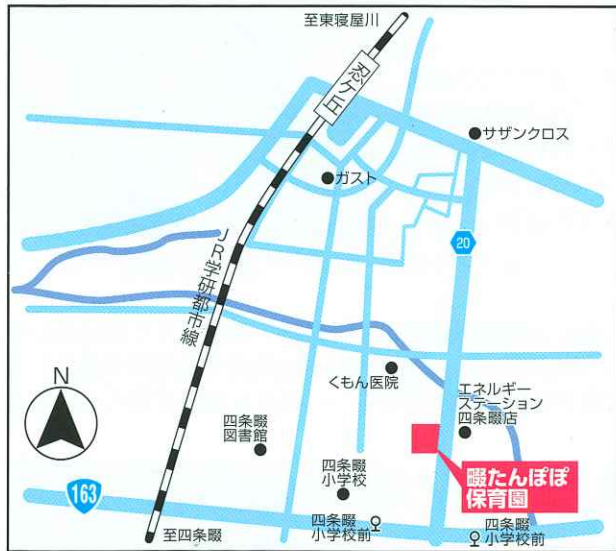


枚方たんぽぽ保育園

〒573-1194 枚方市中宮北町10-14
TEL 072-840-2083 FAX 072-840-9614

つくし保育園

〒573-1196 枚方市中宮本町1-29
TEL 072-848-5734 FAX 072-807-3294



堺たんぽぽ保育園

〒575-0063 四條畷市清瀧445-9
TEL 072-863-3368 FAX 072-863-2368



津の辺保育園

〒574-0016 大東市南津の辺町2-32
TEL 072-876-8327 FAX 072-876-8347

たんぽぽ福祉会本部

〒573-1194 枚方市中宮北町10-14 TEL 072-894-8651